

缶サットの規格および審査の詳細について

1 缶サットの規格について

- ・缶サットには必ず、パラシュートなどの減速機構を取り付けること。
- ・缶サットの全体サイズ（パラシュートなどの減速機構は含まない）は、外形φ68mm以下、高さ124mm以下とする。
- ・缶サットの総重量（パラシュート他の付属品含む）は250g以上300g以下とする。

2 審査の詳細について

(1) ミッション概要資料

- ・『自分達を実施するミッション』に関し、次のア～ウについて明確に記述し、PDFファイルにしたものをメールにて下記提出先に提出すること。

ア ミッション：内容 / 意味（意義） / 独創性（新規性）について

イ 缶サットの構造系：仕組み / 独創性（新規性）について

ウ 缶サットの電子系：センサ・モーター類 / フローチャート / セーフティについて

エ サクセスクライテリア：ミニマム / フル / エクストラについて

- ・書式は自由とする。A4サイズ2～3枚程度（写真を入れて作成すること。）

【提出先】：宇宙甲子園缶サット部門関東大会実行委員会 info@takarabaco.space

提出期限：令和6年11月4日（月）17時

(2) 事前プレゼン

ミッション概要資料に基づき、各チーム7分程度で発表をします。

ミッションアイデア「自らミッションを設定し、どう実現するのか」を説明して下さい。事前プレゼンでは、機体の独創性、技術について審査をします。プレゼンの上手さも評価の対象となります。

各学校にて発表を動画で撮影し、その撮影データを提出又はYouTube公開の形式となります。YouTube公開の場合はURLを連絡してください。11月4日（月）17時までに事務局へメール等にて提出してください。11月6日までにwebにて公開します

提出先：宇宙甲子園缶サット部門関東大会実行委員会 info@takarabaco.space

(3) フライト競技

- ・自作した缶サットを上空よりドローンにて放出し、自ら設定したミッションを実行
- ・缶サットの落下時間は5秒～20秒とする。
- ・フライト競技は2回行い、参加者からの申し出により、どちらか一方のフライトについて審査する。
- ・次のア、イについて審査する。
 - ア 缶サットの落下時間について
 - イ ミッションの達成度について

(4) 事後プレゼン

- ・イ～エに関して自己評価し、全国大会出場に向けた今後の改良内容および改良スケジュールについて発表
- ・発表資料の書式は自由
- ・審査時間は10分間（プレゼンテーション7分、質疑応答2分、入れ替え1分）
- ・次のア～ウについて審査する。
 - ア 自己評価について
 - イ 改良内容について
 - ウ 改良スケジュールについて